

2011年実践的防災まちづくりコーディネーター養成講座 《講義録10限目》

投稿者:「防災塾・だるま」中村 俊光

- ◆開催月日:2011年12月8日(木)
- ◆開催時間:14:30~16:30
- ◆開催場所:KUポートスクエア 14F

《講座メインテーマ》東日本大震災から学ぶ防災(減災)まちづくり



◆本日のテーマ◆ワークショップの発表と講評・講座全体のまとめ

ワークショップ(第9回)のまとめを各グループから発表し、主催者からの講評を受ける。最後に、講座修了証の授与を行い、実践的防災まちづくりコーディネーターの活動に向けて協働ネットワークづくりを目指す。



講師
荻本孝久



講師
池田邦昭

【講座受講生】



【講座修了証授与式】



《各グループの選定テーマ》

- 1) 自分の住む地域でどういう災害が想定されるか?
- 2) 自分は災害に備えて平常時、何を考えて行動しているか?

◆選定テーマに沿って討議されたワークショップの内容が4グループの代表者から発表された。

・各グループ代表発表者からは、グループ内での熱のこもった論議が垣間見える内容で、受講生が真剣に防災談義をされた事が伝わって来ました。

◆一例を紹介します(発表者は講座初受講の女性です)・・・一部抜粋して紹介します

・大災害に備えて私たちが考えなければいけない問題はまだまだ多いと思いましたが、防災対策は、行政を頼りにするのではなく、地域が一体となって被害を減らす事、また、地域一人ひとりが防災に対して関心・興味を抱く事から始まり、行動する事で対策に繋がるという事を改めて感じました。最後に、この講座を受け、防災意識が高まり、地域防災に貢献出来ればと思った方々も少なくないのではないかと思います。災害時に向けて具体的にどうすればよいか参加者の方々と知恵を出したり、考えてみたりする機会を設けてくれたこの講座は、大変有意義で面白かったです。そして、災害発生時に何が必要か、どう対処すればいいか日頃から想像力を働かせて考えなければならぬことが大切であると、私は講座を受けて学びました。



講座終了後の交流会風景



2011年度講座も無事終了。講座終了後、修了証の授与式が行われ、受講規定をクリアされた31名の方が受領されました。また、今後の活躍を期待するとともに、人的ネットワーク作りを目的に「交流会」を実施。受講生はもちろん、講師の方々のご参加も賜り、有意義な一時を過ごす事が出来ました。受講生の皆さん、講師の皆さん、スタッフの皆さん、お疲れ様でした。皆さんの今後のご活躍を祈念して、最後の投稿と致します。

第10限目「ふりかえりシート」まとめ

1. 講座で参考になったこと

- (1) 各グループの発表から防災への高い関心と情熱を感じ、地域の防災活動への思いを新たにしたい。
若い参加者の発表からは、若い力の活躍への期待も。
- (2) 災害の種類は幅広い;「防災はイメージだ!」
- (3) 自助・共助を、発災前・発災時・復旧の段階で考え、どう繋げて仕組みを構築できるかの視点。
発災時には、“津波てんでんこ”の教訓をどう生かすか。
- (4) 耐震性のない建物を減らすことが如何に必要か。天井など付属物にも耐震基準を。
行政・政治の力も必要。
- (5) トイレやベットなど避難所運営で出てくる深刻な課題について。

2. もっと聞きたかったこと

- (1) それぞれの受講者の地域の自助・共助の取り組み、成功例、問題などについて。
- (2) 横浜での耐震化への行政の具体的な取り組みについて。
- (3) 横浜市の避難所457か所の今後の展開について。
- (4) 神戸市の経験や取り組みについて。(横浜市が学ぶことが多い)

3. 講座への提言・要望

- (1) グループ発表で浮かび上がったテーマを意見交換して深り掘げる時間もほしい。
- (2) テーマを絞り込んだ上で講座で学んだことを提言にまで結び付けられれば、ワークショップの意義が更に高まると思う。
- (3) グループメンバーだけでなく、参加者全員の自己紹介・活動紹介も聞きたかった。
- (4) 講座自体の情報や資料の連絡や共有のために、講座開始時に講座参加者・講師などでSNS(ソーシャル・ネットワーキング・サービス)を開設してはどうか。
- (5) 受講生の世代や地域の幅をもっと広げることで、“実践的防災まちづくりネットワーク”のための講座の役割も広がると思う。
- (6) クロスロードも良かったが、DIG(災害想像ゲーム)もこの講座に相応しいと思う。

4. その他

- (1) 全10回の講座を通じて防災活動に取り組む仲間が増えた。講座終了で終わるのではなく、この成果を今後に繋げたい。
- (2) 防災塾・だるまの活動についても具体的に知ることができた。

貴重なご意見ありがとうございました!

講座運営委員会